

「第8回 あまのわ」 概要

■開催概要

日 時 2024年10月12日(土) 10時～15時30分
会 場 あま市文化の杜(美和文化会館)
主 催 あま市
共同運営 あま市市民活動センター・あま市社会福祉協議会ボランティアセンター

■テーマ

みんなで一緒につくろう！元気なまち

■目的

市民の協働によるまちづくりへの理解、様々な主体による協働のまちづくりの実現

■趣旨

- ① 市民に参加してもらい、まちづくりに関心を持つきっかけとなる「あまのわ」とする。
- ② 市民活動団体同士の交流、市民と団体の交流が生まれる「あまのわ」とする。
- ③ 行政、学校、企業、市民活動団体等様々な主体のつながりを深め、一緒に盛り上げる「あまのわ」とする。
- ④ 市民活動団体、ボランティア団体、行政の協働につながる「あまのわ」とする。

■昨年度(第7回あまのわ)の来場者実績

3,600名(一般来場者、プログラム参加団体関係者、学生・一般ボランティア、スタッフ他含む)

■プログラム内容

【大ホール・ステージプログラム】

- ① ラジオ体操
- ② 愛知万博20周年記念事業 モリゾーとキッコロのステージ
- ③ 登録団体のステージ発表
- ④ 美和高校ブラスバンド部演奏と美和高校の活動紹介
- ⑤ セレモニー
- ⑥ 講演会・AMA×TALK SESSION ～このまちがもっと面白くなる～(仮称)
- ⑦ クイズラリー抽選会
- ⑧ ずっと We Love あま！体操

【その他のプログラム】

- ⑨ ブース出展(登録団体、商工会、マルシェ、行政、協定企業、高校等)
- ⑩ 市民活動センター・社協ボランティアセンターの紹介
- ⑪ 市民活動センター10周年記念写真展
- ⑫ クイズラリー
- ⑬ 観光協会10周年スペシャルフォトコンテスト
- ⑭ みんなで遊ぼう！コーナー
- ⑮ その他

■大ホールタイムスケジュール(予定※変更の可能性あります)

【午前】	
10:00	開会のあいさつ
10:15～10:25 (10分)	ラジオ体操
10:25～10:40 (15分)	モリゾーとキッコロ出演(愛知万博 20 周年記念事業の PR 等)
10:40～11:40 (60分)	登録団体のステージ発表(4 団体)
11:40～12:30 (50分)	休憩
【午後】	
12:30～12:45 (15分)	美和高校ブラスバンド部演奏
12:45～13:00 (15分)	美和高校の活動紹介
13:00～13:15 (15分)	セレモニー(市長、来賓あいさつ)
13:15～13:35 (20分)	大ナゴヤツアーズ 代表 加藤 幹泰さん講演 ローカルツアーの魅力～「体験」「学び」「見学」「まち歩き」を通して、ここでしかできない感動体験～
13:35～13:55 (20分)	円頓寺商店街振興組合 理事長 田尾 大介さん講演 愛知・円頓寺商店街のまちづくり ～魅力ある個店の創出について～
13:55～14:00 (5分)	佐藤さん、小林さんの紹介
14:00～14:45 (45分)	AMA×TALK SESSION ～このまちがもっと面白くなる～(仮称)
14:45～15:25 (40分)	クイズラリー抽選会
15:25～15:30 (5分)	「ずっと We Love あま!体操」
15:30	閉会あいさつ

■特別企画

①『AMA×TALK SESSION ～このまちがもっと面白くなる～』

「第8回あまのわ」のテーマ「みんなで一緒につくろう!元気なまち」の「みんな」は、あま市に関わるさまざまな主体です。これからの市民活動やまちづくりには、「課題解決」だけでなく、「好き」「楽しむ」視点も大切です。そこで、市民活動やボランティアの裾野を広げるためのきっかけとして、「あま市を面白がる」をキーワードにトークセッションを行います。

名古屋市で実績を持つ田尾氏(円頓寺商店街理事長)と、加藤氏(大名古屋ツアーズ代表)をお招きしてミニ講演を開催し、その後地元老舗企業の社長、佐藤氏、まちづくりコーディネーターの小林氏の四者で、AMA×TALK SESSION ～このまちがもっと面白くなる～と題して、トークセッションを行います。

会場のさまざまな世代や主体のみなさんに、トークセッションをお聞きいただき、それぞれの立場で、あま市の魅力をみつけて、楽しくまちづくりに参加していただくきっかけになればと考えます。

【内容】

- ・まちの魅力の見つけ方、面白がり方
 - どんなマインドで地域と向き合っているか、魅力はどんなところに隠れているか?
- ・あま市の魅力はどこ
 - ゲストそれぞれの感じるあま市の魅力、魅力を活かすための具体的なアイデアとは?

- ・まちの人たちと一緒に観光、魅力発信を盛り上げるために
→ どんな市民参加のあり方があり得るか、観光における協働のあり方
市民、行政、事業者はそれぞれどんなアクションを起こせるか？

②『80人でみそづくり体験（仮称）』

- ・佐藤醸造株式会社にご協力いただき、現地でみそ作り体験を行います。
第8回にちなんで、事前に80名を募集して、当日実際に味噌玉を作って、樽に投げ込みます。
発酵後（半年～1年後）、味噌を受け取ることができます。

■その他

- ① 中学生、高校生、大学生ボランティアの参加
- ② 高校生の参画（美和高校）
- ③ 危機管理課による消防団消防服、防火服体験フォトブース

※プログラムにつきましては、変更の可能性があります。

以上